

令和3年度使用 中学校社会科（公民的分野）調査資料

| 発行者 | 調査内容 |
|------|--|
| 東京書籍 | <p>＜課題解決の流れに沿った構成について（「課題を『つかむ』『調べる』『まとめる』活動がわかりやすく、自分の言葉でまとめる流れができているか）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「導入の活動」で章全体を貫く「探究課題」を設定し、1時間ごとの「学習課題」を提示して課題追究を進め、それを補助する「探究のステップ」や「まとめの活動」を通して、課題解決的な学習の流れが丁寧に作られている。 ○まとめの活動に多様な思考ツールが紹介され、生徒が主体的に思考・判断した内容を適切に表現できるよう工夫している。 <p>＜「資料を読み取る力を身に付けさせる上で資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切か」について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○写真資料が多く掲載されており、「この写真は何だろう」と生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○資料の読み取りや収集方法等を紹介する「スキル・アップ」やそれを活用するためのコーナー（「集める」・「読み取る」・「まとめる」）が設けられている。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代社会の見方・考え方を働かせ、学習を深められる場面に「見方・考え方」のコーナーが設けられている。 |
| 教育出版 | <p>＜課題解決の流れに沿った構成について（「課題を『つかむ』『調べる』『まとめる』活動がわかりやすく、自分の言葉でまとめる流れができているか）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章の導入「学習の始めに」において、この章で学習する内容を漫画などの資料で提示し、いくつかの問いから、見通しをもって学習を進められるよう工夫されている。 ○章のまとめとして、「学習のまとめと表現」というタイトルで、基礎基本の確認、資料を使った探究活動（思考ツールも紹介）、章全体のテーマに対する自分の考えを表現する活動が用意されている。 <p>＜「資料を読み取る力を身に付けさせる上で資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切か」について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入資料を「LOOK！」という解説文や吹き出しによって、生徒の興味・関心を高め、学習内容に見通しを持って主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○「読み解こう」では、資料の読み取りを、問いを手がかりに考えることができ、資料を活用する力を身に付けさせるための工夫がある。 <p>△新聞記事の切り抜きを活用した資料が少なく、NIEを進める上では掲載数を増やす必要がある。</p> |
| 帝国書院 | <p>＜課題解決の流れに沿った構成について（「課題を『つかむ』『調べる』『まとめる』活動がわかりやすく、自分の言葉でまとめる流れができているか）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○章扉に、導入ページとして内容に関係したイラストが見開きで描かれており、単元の学習内容を概観することができる。 ○章のまとめでは、章の問いに対して、「見方・考え方」を働かせて、自分の考えを整理し、意見交換を通して、自分の考えを深め、章の問いへの答えを自分の言葉で表現するという流れになっている。また、そのためのワークシートの例も掲載されている。 <p>＜「資料を読み取る力を身に付けさせる上で資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切か」について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入資料は、わかりやすい模式図や写真資料を使い、大きく掲載されており、生徒が興味・関心を持って取り組めるよう工夫されている。 ○資料を読み取るための視点として「資料活用」の項目が設けられ、生徒の資料活用能力が |

| | |
|--------|---|
| | <p>高めるための工夫がみられる。</p> <p><その他></p> <p>○経済単元では、パン屋経営を疑似体験できる「パン屋を起業しよう」が単元を通して設定され、実感を伴って理解し、生きた知識を無理なく身に付けられるよう工夫されている。</p> |
| 日本文教出版 | <p><課題解決の流れに沿った構成について（「課題を『つかむ』『調べる』『まとめる』活動がわかりやすく、自分の言葉でまとめる流れができていないか）></p> <p>○各章の導入「学習のはじめに」で、漫画を通して、抽象的な概念である「見方・考え方」を、具体的な場面を通して理解できるように工夫しています。</p> <p>○1単位時間の学習の手がかりとして「学習課題」と「見方・考え方」を示すことで、課題解決に沿うことができるよう方向性が示されている。また、「アクティビティ」を活用することで、学習課題について考えを深め、対話的な学習をすすめることができる。</p> <p><「資料を読み取る力を身に付けさせる上で資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切か」について></p> <p>○最新の統計資料、写真、新聞記事、分かりやすいイラストなどの資料が数多く掲載され、生徒が学習内容を理解するための手助けになっている。</p> <p>○情報の読み取り等を行う「情報スキルアップ」や収集した情報をまとめ、考察する際に活用できる「シンキングツール」が適宜設定され、効果的に調べ、まとめる技能が身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>△1単位時間の学習のまとめが、「確認」の一つしかない。知識習得の項目を設ければ、さらに学習内容が定着する。</p> |
| 自由社 | <p><課題解決の流れに沿った構成について（「課題を『つかむ』『調べる』『まとめる』活動がわかりやすく、自分の言葉でまとめる流れができていないか）></p> <p>○1単位時間の見出しの下に学習の課題が示されている。また最後の「ここがポイント」で学習内容の確認ができるように工夫されている。</p> <p>○「もっと知りたい」という特設ページを関連する単元のそばに設けて、発展的な内容が学習できるように工夫している。</p> <p>△各章のまとめに、基本事項の確認や「学習の発展」として文章でまとめる課題が設定されているが、対話的な学習を促すような課題設定が少ない。</p> <p><「資料を読み取る力を身に付けさせる上で資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切か」について></p> <p>○本文に関連する事例等が「ミニ知識」として紹介され、生徒が興味、関心を持って学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>△資料の提示数がページや単元によって差があり、資料が少ないページでは、余白が多い。</p> |
| 育鵬社 | <p><課題解決の流れに沿った構成について（「課題を『つかむ』『調べる』『まとめる』活動がわかりやすく、自分の言葉でまとめる流れができていないか）></p> <p>○各章の導入に「○○の入り口」を設け、学習意欲や興味・関心を引き出す工夫が見られ、学習内容をイメージがしやすくなっている。</p> <p>○章のまとめでは、「入り口」で示された課題を受けて、見開き2ページで「○○のこれから」を設けて、学んだ内容を生かして取り組む課題が設定されている。</p> <p><「資料を読み取る力を身に付けさせる上で資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切か」について></p> <p>○資料に新聞記事が多く使われていたり、世界の中の日本を意識しやすい他国と日本を比較できるような資料も多く掲載されていたりする。</p> <p>○「やってみよう」「学習を深めよう」「スキルアップ」といったコーナーや特設ページを設けて、参加型の学習や公民の基礎的な技能や多面的・多角的に考察する力を身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>△課題解決のために、見開き2ページに写真やグラフなど資料が多く掲載されているが、少し小さいものがあり、読み取りにくいものがある。</p> |

